

日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2021年9月7日 火曜日

Universal Themeの安全なカスタマイズ方法について

Oracle APEXのArchitectであるShakeeb Rahmanさんが、先日の[Office Hour - Deep Dive: Universal Theme in APEX 21.1](#)にて、Universal Themeのカスタマイズ方法について紹介しています。



Recommended Approach	Not Supported
Theme Roller	Unsubscribe Universal Theme
Template Options	Copying and changing templates or template options
Overriding CSS variables	Use 3rd Party Libraries or Plug-ins
Scoped CSS snippets where necessary	Custom CSS Overrides

Recommended Approach - 推奨する方法 - として、以下を挙げています。

- Theme Roller - テーマ・ローラー
- Template Options - テンプレート・オプション
- **Overriding CSS variables - CSS変数の上書き**
- **Scoped CSS snippets where necessary - スコープ付きCSSスニペット - 必要に応じて**

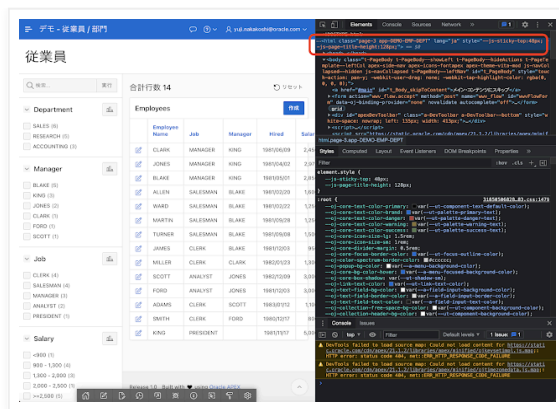
テーマ・ローラーおよびテンプレート・オプションはOracle APEXの標準機能であり、サポートされる変更手順です。CSS変数の上書きやCSSスニペットの記述(テーマ・ローラーのカスタムCSSとしての記述を含め)は、開発者によって書かれたコードになります。ですので、そのコード自体はサポートの対象にはなりません。それらの方法によるUIのカスタマイズは、Oracle APEXのバージョンアップの影響が最小限である（もしくはほとんどない）ため、カスタマイズ手順として推奨されています。

推奨されている手順について、Tim Kimberlさんがビデオの中で説明しています。サンプル・データセットのEMP/DEPTから作成されるアプリケーションを使って、ビデオで紹介されている手順を確認してみます。

Oracle APEX 21.1からHTML要素のclass属性としてpage-ページ番号およびapp-アプリケーション別名が指定されるようになりました。

例えば以下のページ番号3、ファセット検索のページのHTML要素は以下から始まります。

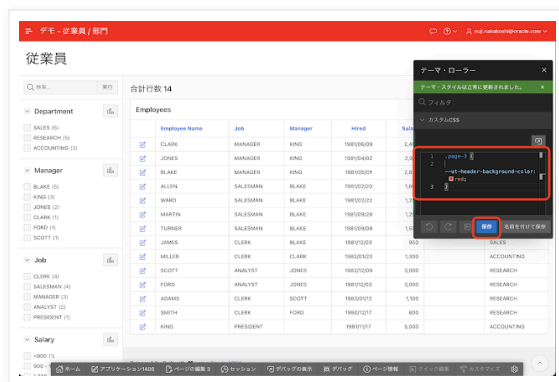
```
<html class="page-3 app-DEMO-EMP-DEPT">
```



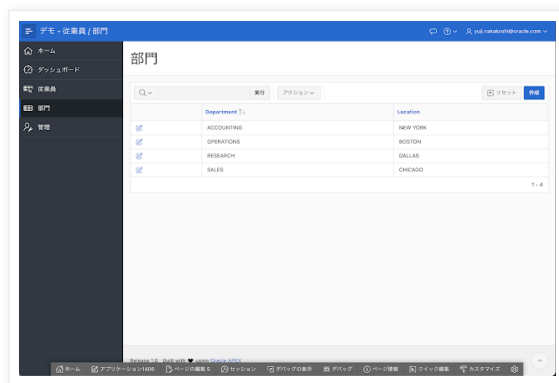
テーマ・ローラーを開いて**カスタムCSS**として以下のコードを設定します。ヘッダーのバックグラウンド色を定義しているCSS変数を赤に変更します。

```
.page-3 {
  --ut-header-background-color: red;
}
```

.page-3クラスの定義とすることで、ページ番号3に適用範囲を限定しています。



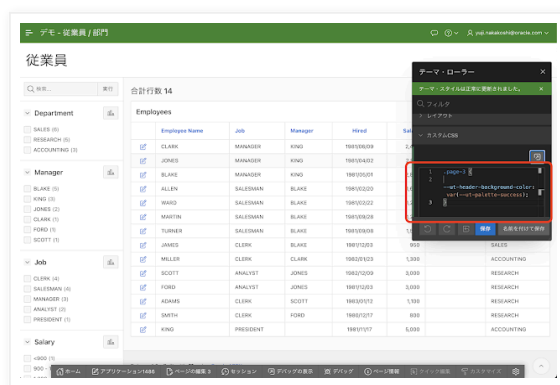
部門ページを開いてみます。部門ページはページ番号5なので、この設定による影響はありません。



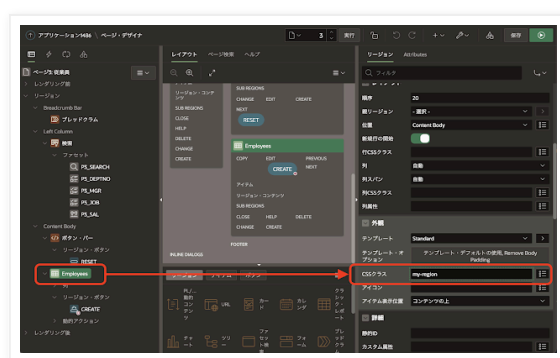
また、CSS変数の設定では、他のCSS変数を参照することができます。**--ut-palette-success**をヘッダーのバックグラウンド色に設定します。

```
.page-3 {
  --ut-header-background-color: var(--ut-palette-success);
}
```

ヘッダーの色が緑になります。



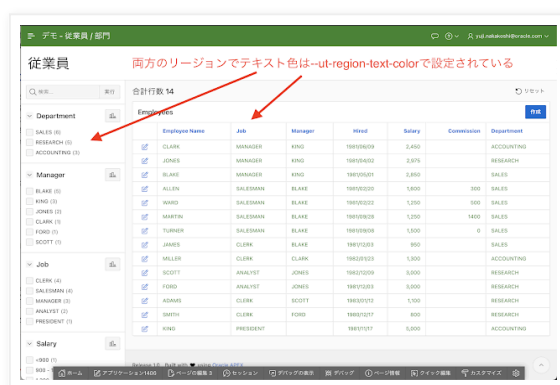
続いて、レポートとして表示される文字の色を変更してみます。ページ・デザイナーを開いて、レポート・リージョンのEmployeeの外観のCSSクラスにmy-regionを設定します。



テーマ・ローラーのカスタムCSSに以下の記述を追加します。.page-3と.my-regionクラスに設定することにより、ページ番号3およびEmployeeのリージョンに適用範囲を限定しています。

```
.page-3 .my-region {
  --ut-region-text-color: var(--ut-palette-success);
}
```

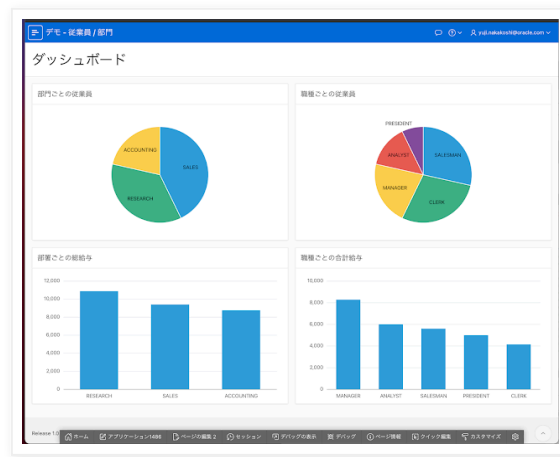
リージョンの文字の色が緑になっています。



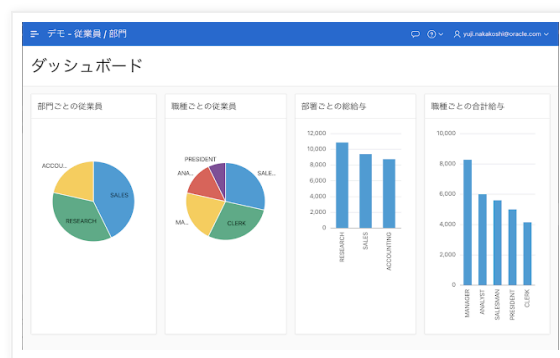
CSS変数の上書きとスコープ付きCSSスニペットの例は以上になります。

Office HourではOracle APEX 21.1の新しい機能である行CSSクラスについても紹介されていました。

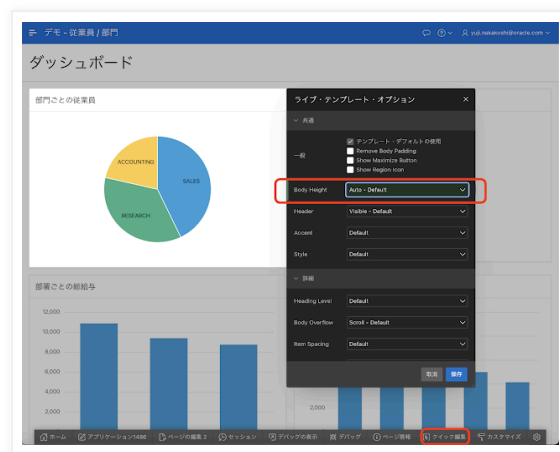
ダッシュボードのチャートが次のように配置されています。



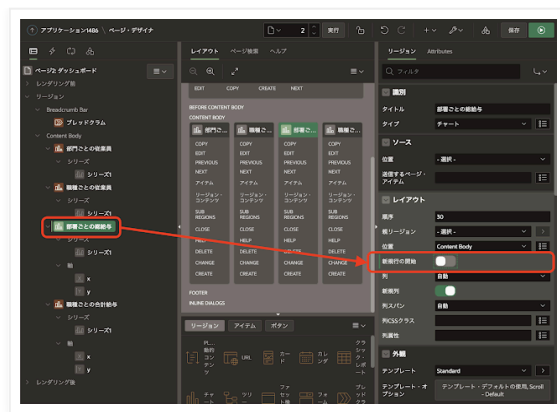
行CSSクラスを定義して、以下のようなレイアウトにしてみます。



最初に開発者ツール・バーより**クイック編集**を実行し、4つのチャート・リージョンすべてで**ライブ・テンプレート・オプション**を呼び出し、**Body Height**を320pxから**Auto - Default**に変更します。



部署ごとの総給与のリージョンの、**レイアウトの新規行の開始**を**OFF**に変更します。すべてのチャート・リージョンが横一列に並びます。

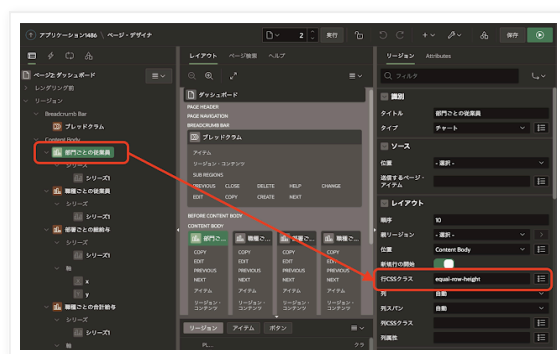


ページ・プロパティのCSSのインラインに以下を記述します。同じ行に並んでいるリージョンの高さを一致させます。

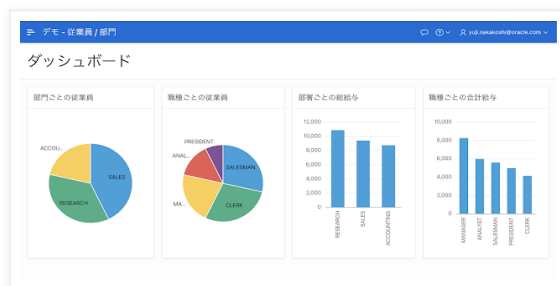
```
.equal-row-height .col {
  display: flex;
}

.equal-row-height .t-Region {
  flex-grow: 1;
}
```

定義したCSSクラスequal-row-heightを、行の先頭となるリージョン部門ごとの従業員のレイアウトの行CSSクラスとして設定します。同じ行に配置される4つのリージョンの高さが同じになります。

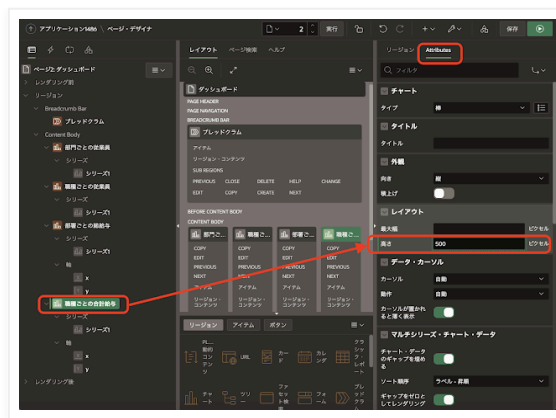


以上で行CSSクラスの設定はできました。設定結果の表示は以下になります。



もともとBody Heightはすべて320pxとして設定されていたので、リージョンの高さは一致していました。ここでチャートの職種ごとの合計給与の棒グラフを縦方向に広げてみます。

チャートのAttributesのレイアウトの高さを500ピクセルとします。



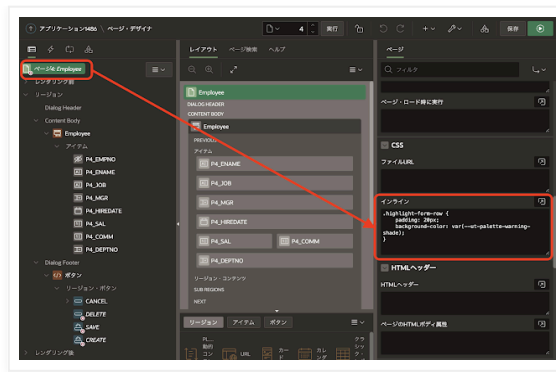
チャートは以下の表示になります。職種ごとの合計給与のチャートは縦長になりますが、同じ行のすべての(チャート)リージョンも同じ高さに変更されます。そのため、Body Heightをそれぞれのリージョンで個別に設定する必要がありません。



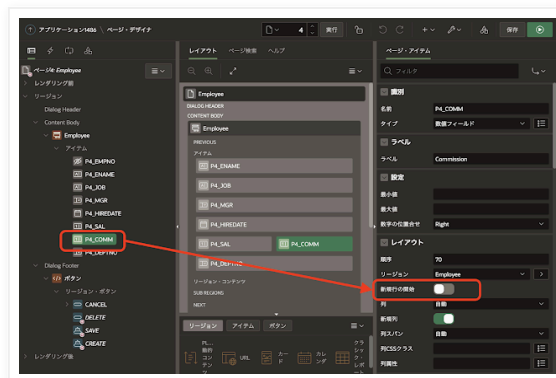
行CSSクラスはフォーム上のページ・アイテムの配置でも活用できます。従業員の編集フォームのSalaryとCommisionのページ・アイテムを以下のように強調してみます。

Employeeのフォーム・ページのCSSのインラインに以下を記述します。パディングとして20ピクセル、バックグラウンド色を警告色にしています。

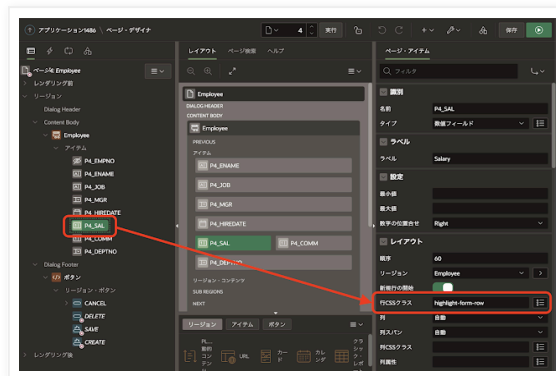
```
.highlight-form-row {
  padding: 20px;
  background-color: var(--ut-palette-warning-shade);
}
```



フォームの作成直後は、ページ・アイテムP4_COMMはP4_SALの右隣には配置されていません。ページ・アイテムP4_COMMのレイアウトの新規行の開始をOFFにします。



ページ・アイテムP4_SALのレイアウトの行CSSクラスとして、highlight-form-rowを設定します。



以上でSalaryとCommissionの入力項目を強調することができました。行CSSクラスが導入される前はサブリージョンを使うなど、非常に手間がかかりました。

Tim Kimberlさんがデモで使用していたアプリケーションを以下からアクセスできるようにしています。

<https://apex.oracle.com/pls/apex/japancommunity/r/ut211-demo/generic-component-styles>

Universal Themeにて定義されているCSS変数の一部が記載されていますが、リファレンスとして使えるようになるまでは、まだ時間がかかるようです。

以上で今回の記事は終了です。

Oracle APEXのアプリケーション開発の参考になれば幸いです。

完

Yuji N. 時刻: 16:04

共有

◀

ホーム

▶

[ウェブ バージョンを表示](#)

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。
こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)

Powered by Blogger.